



小澤牧場グループ SDGs宣言

当社は国連が提唱する『持続可能な開発目標（SDGs）』に賛同し、
事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2023年10月28日
有限会社大沼肉牛ファーム
代表取締役 小澤 孔仁

当社の取組み

商品・サービス

「消費者の健康」・「牛の健康」・「大地の健康」の3つの健康を企業理念とし、高品質な牛肉を安定的に食卓へ届けられるよう努めます。

<主な取組み>

- ・「消費者の健康」を第一に、配合飼料には成長ホルモン剤を不使用
- ・「牛の健康」を考え、換気性、日射や風雪の防御を万全にした牛舎構造
- ・「大地の健康」を考慮した循環型農業の実践
- ・牛の導入から出荷までの個体情報をトレーサビリティ管理



人権・働きがい

労働安全衛生の徹底を行うとともに、従業員一人ひとりが働きやすい各種制度を整備し、「食」への貢献を実感できる職場づくりを目指します。

<主な取組み>

- ・定期健康診断の実施と診断結果のフォロー
- ・全従業員が安心して働くための各種制度(産休、育休、介護休暇等)の完備
- ・従業員のつながりを重視し、業務を問わずに協力することで時間外労働を抑制



環境

自社農地で生産した資源に加え、廃木材再利用を積極的に行うことで、持続可能な自然資源の保全に貢献します。

<主な取組み>

- ・自社農地で生産された牧草/デントコーンの利用
- ・牛から出る糞尿を堆肥化し、自社農地/牛床への還元
- ・家屋の取り壊しや製材時に出る木材を再利用した、おがくず/チップパークを牛床材料として使用
- ・安全性の確認できた良質な地下水を牛への飲料水として利用



地域・社会貢献

地元人材の積極活用や、地域への牛肉提供を通じて、持続可能な地域社会の構築に貢献します。

<主な取組み>

- ・各拠点における地元人材の積極活用
- ・道南地域の学校給食への材料提供
- ・近隣畑作農家へ牧場生産の完熟堆肥の提供



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

- Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、国連の全会一致で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットで構成されます。
- 誰一人取り残さないという理念のもと、政府や企業、市民などすべての人が関わり、気候変動や経済成長、人権や働きがいなど、幅広く社会課題の解決を目指しています。